

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年5月29日（木）

2 確認箇所

増設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

増設多核種除去設備点検作業の状況

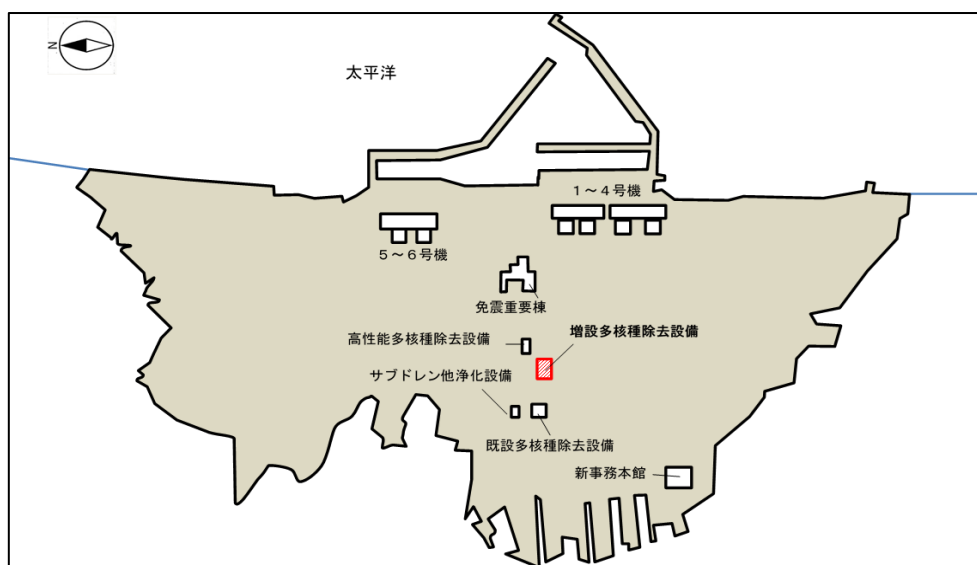
4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器の点検状況を適宜、継続して確認している。

本日は、増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）建屋内で実施されている設備機器の点検作業等の状況を確認した。（前回確認：[令和7年4月22日](#)）

- ・増設ALPSは、A系、B系及びC系で構成されており、当日はC系の吸着材交換作業が行われていた。（写真1）
- ・HIC※払い出しエリアにおいて、HIC上部を覆うビニールハウスの移設作業が行われていた。移設作業は、ハウス内の拭き取りによる汚染検査後、クレーンでビニールハウスを吊り上げて運んでいた。クレーン作業は声かけや安全確認等が適切に行われていた。（写真2）
- ・建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。

※HIC（High Integrity Container：高性能容器）は、汚染水の処理をする際に発生する泥状物及び使用後の放射性物質吸着材を保管するための容器。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) 吸着材交換作業の状況



(写真 1 ②) 吸着材交換作業の状況



(写真 2 ①) ビニールハウス内の汚染検査



(写真 2 ②) 放射能測定及び記録



(写真2③)ビニールハウスの吊り上げ



(写真2④) ビニールハウスの移設・据付

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。